

平成29年度 施策評価検証シート

評価年月日 平成29年7月7日

				部会名	人づくり・地域づくり部会
施策No.	3-1-1	施策名	子育て支援の充実	施策主管課	こども課
施策の目指す姿		安心して子育てしています			
<p>■ 施策評価シート(平成28年度実績評価)について</p> <p>① 施策を構成する事務事業の評価・検証について</p> <p>● 「4 施策を構成する事務事業一覧」の「施策への貢献度」の評価が的確に行われているか。 「直結度」評価はおおむね的確である。ただし、「直結度」の基準が現状では担当者の主観であるため、第三者に説明しやすい基準を工夫する必要がある。</p> <p>● 「5 施策を構成する事務事業の検証」が的確に行われているか。 施策評価シートの記載内容と各事業の事務事業評価シートの内容とのつながりが明確ではない。記載内容が、事務事業評価シートの記載のどの部分を踏まえたものなのかが分かるような記載の工夫が必要である。 さらに成果の向上を図る事業として記載されている「待機児童解消のための保育量確保対策事業」は、ヒアリングの過程において既存の事務事業の成果向上を図る内容(保育施設環境整備支援事業による施設の充実)と、新たに取り組むべき事業に相当する内容(マンパワーの確保)の2つに分けられることが分かった。マンパワー確保の側面での保育量確保対策については、新たに取り組むべき事業の欄に分けて記載するのが妥当である。</p> <p>② 施策の成果指標及び達成状況の分析について</p> <p>● 「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」の分析が的確に行われているか。 成果指標の実績値の増減理由等はおおむね明らかになっている。ただし、市の子育て相談体制に関して「不十分」との回答が7.5%に上る背景や要因の分析が必要である。</p> <p>③ 施策の総合的な評価について</p> <p>● 「6 施策の総合的な評価」が的確に行われているか。 記載されている5つの課題は、特に事務事業の検証の記載とのつながりが不明確なので、両者のつながりを明確に記載する必要がある。 施策に対する課題はおおむねとらえられている。 「相談体制の充実」、「強化を図っていく」の記載については、ヒアリングにおいて、より具体的な取組が明らかになった。施策評価シートにおいても、具体的な取組を記載するようにした方が望ましい。</p> <p>④ シート記載内容について</p> <p>「1 主な取組実績」は「4 事務事業一覧」の説明ではなく、施策の目玉となる実績をいくつかピックアップして記載したほうが良い。 複数の施策評価シートの同じ欄(たとえば「主な取組実績」)の記載を見比べてみると、施策によって記載の仕方が異なっている。施策(記入者)による記載のバラツキが生じにくくなるような(施策評価シート記載要領の)工夫が必要である。</p>					